街歩きヒストリア

⑱ 明治天皇の御用井戸跡

中央図書館北側の歩道に、竹垣で囲まれた井戸と石碑があります。石碑には「聖蹟」との文字があり、簡単な説明なども刻まれています。

井戸は代々の広島城主に水を供していましたが、日清戦争中の明治27(1894)年、広島城に大本営が設置され明治天皇が在城するにあたっては、天皇の御用井戸にもなりました。当時はまだ広島に上水道がなく、井戸水は生活に重要な役割を担っていました。

今ではあって当たり前の水道ですが、昔は水の確保も大変な苦労だったのですね。

（文・小川敏明さん）

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。